

2024 年 8 月 2 日 全 7 頁

消費データブック（2024/8/2 号）

個社データ・業界統計・JCB 消費 NOW から消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

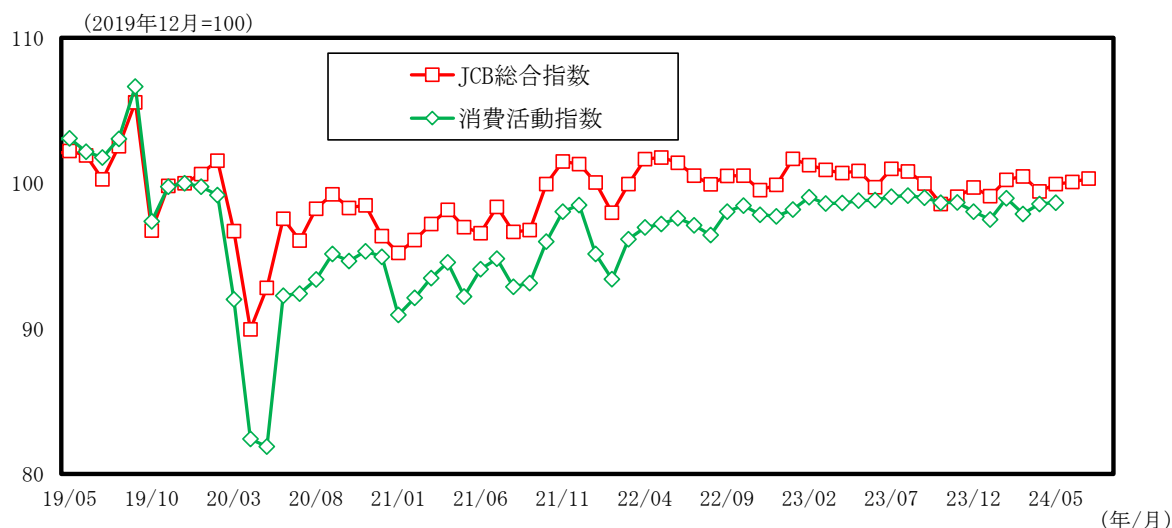
[要約]

- 2024 年 6 月の消費は 5 月から小幅に増加した。財消費のうち、百貨店商品販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の 19 年同月比で 5 月から伸び率が低下した一方、アパレル販売額はマイナス幅が縮小した。新車販売台数は 5 月から小幅に減少した（大和総研による季節調整値）。サービスのうち、宿泊者数と外食売上高の伸び率（19 年同月比）は 5 月から上昇した。
- 7 月の消費は 6 月に続き小幅に増加したとみている。財消費のうち、百貨店大手 3 社の既存店売上高は 2019 年同月比で 6 月からプラス幅が縮小した。他方、アパレル大手企業のうち、既公表のしまむらの既存店売上高はプラス幅が拡大した。新車販売台数は大幅に増加した（大和総研による季節調整値）。サービス消費では、東海道以外の新幹線輸送量は 19 年同月比で 6 月から伸び率が上昇した。JCB が集計した宿泊消費額は 6 月から増加した一方、外食消費額（いずれも大和総研による季節調整値）は 6 月から減少した。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 7 月の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額の伸び率は前月比+0.2%。内訳を見ると、財は前月から増加した一方、サービスは前月から減少。

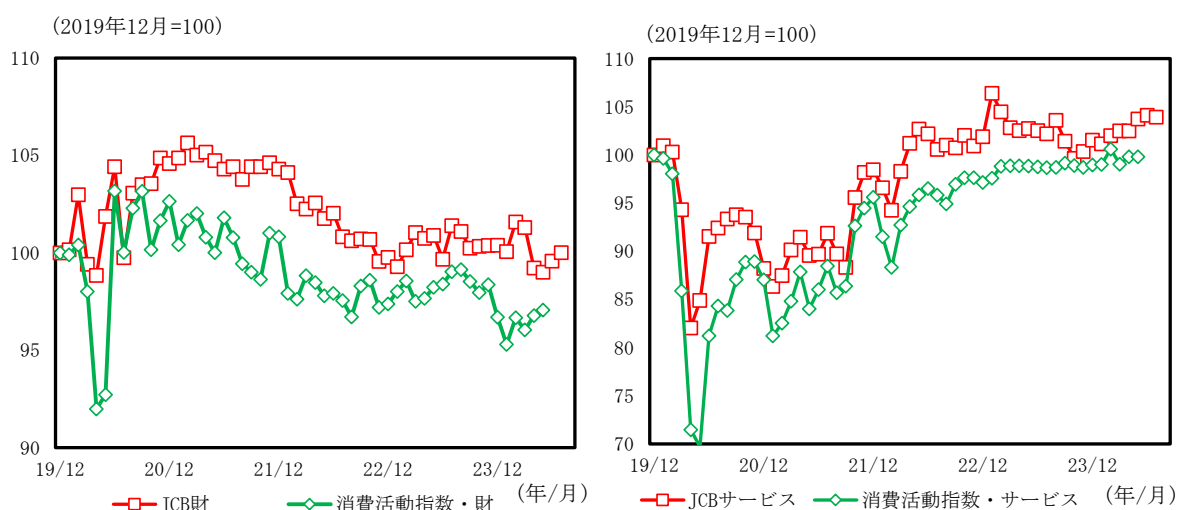
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 7 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 7 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

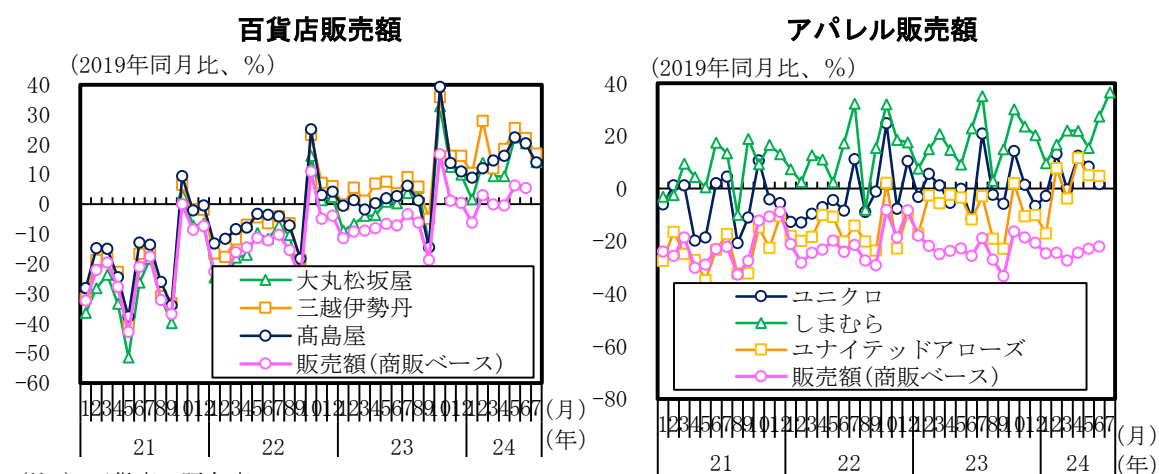
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

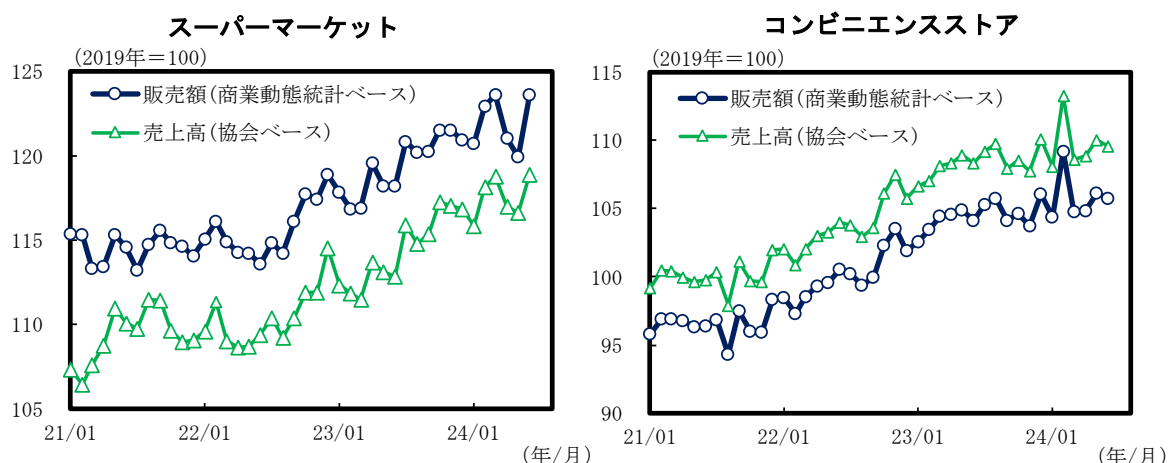
- ◆【百貨店】 24 年 6 月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の 19 年同月比で伸び率が前月から低下した。24 年 7 月の百貨店大手のうち、2 社の既存店売上高は同 +14~17%程度とプラス幅は前月から縮小。衣料品は好調もその他の売上が軟調。
- ◆【アパレル】 24 年 6 月のアパレル販売額（商販ベース）は 19 年同月比で前月からマイナス幅が縮小。24 年 7 月のアパレル大手企業のうち、既公表のしまむらの既存店売上高は前月からプラス幅が拡大。気温上昇の影響もあり夏物の売上が好調。

図表 3：百貨店・アパレルの販売額



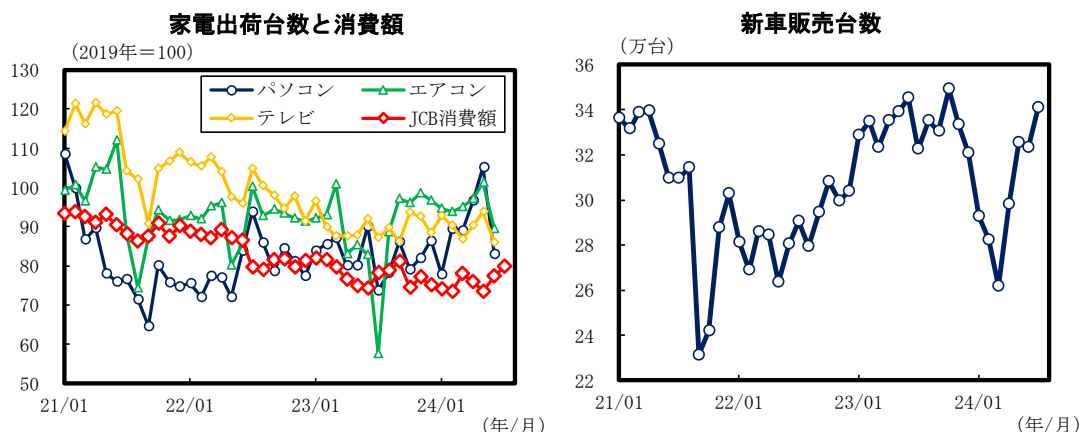
- ◆【スーパーマーケット】 24 年 6 月の販売額は前月比+3.1%（大和総研による季節調整値）。衣料品や飲食料品などの販売額が増加。
- ◆【コンビニエンスストア】 24 年 6 月の販売額は前月比▲0.3%（大和総研による季節調整値）。非食品の販売額やサービスの売上高が減少。

図表 4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高



- ◆【家電】24年6月の出荷台数はパソコンが前月比▲21.1%、エアコンが同▲11.6%、テレビが同▲8.2%（いずれも大和総研による季節調整値）。24年7月のJCB消費額（機械器具小売業）は同+3.2%と2カ月連続で増加（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年6月の新車販売台数は前月比▲0.6%。24年7月は同+5.4%と2カ月ぶりに増加（大和総研による季節調整値）。生産体制の正常化が進んだとみられる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



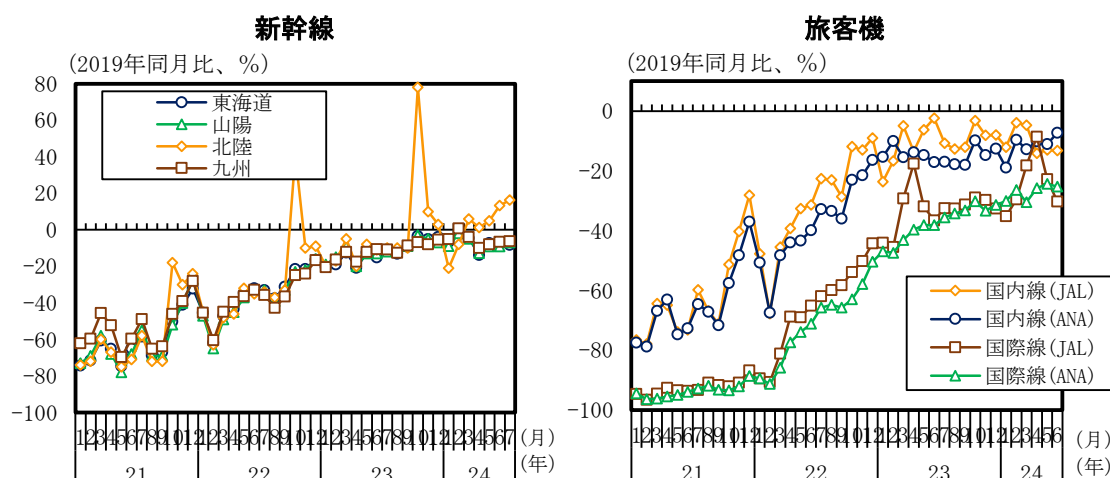
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年7月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年6月の輸送量は19年同月比▲9～+13%程度。24年7月の輸送量は同▲8～+16%程度と東海道以外では伸び率が上昇。
- ◆【旅客機】24年6月の国内線輸送量は19年同月比で▲13～▲7%程度、国際線輸送量は同▲30～▲25%程度。堅調な観光需要を受けて、24年の旅客便の供給量は拡大が見込まれる。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

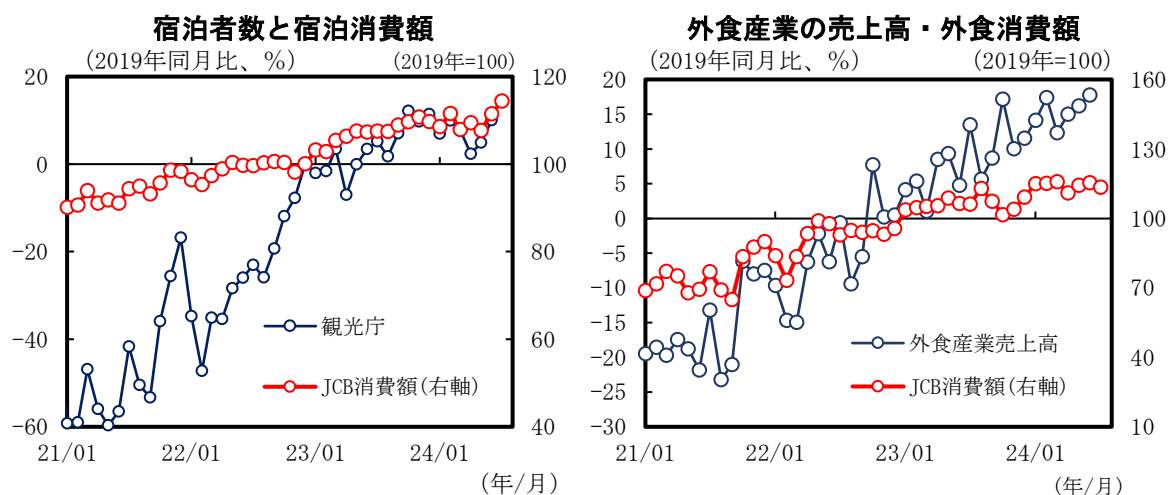


(注) 24年7月の東海道は29日、山陽と北陸は21日、九州は22日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 24 年 6 月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は 19 年同月比+10%と前月からプラス幅が拡大。24 年 7 月の JCB 宿泊消費額は前月比+2.6%と増加。
- ◆【外食】 24 年 6 月の外食産業の売上高は 19 年同月比+17.8%と、前月からプラス幅が拡大。24 年 7 月の JCB 外食消費額は前月比▲1.6%と減少。

図表 7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

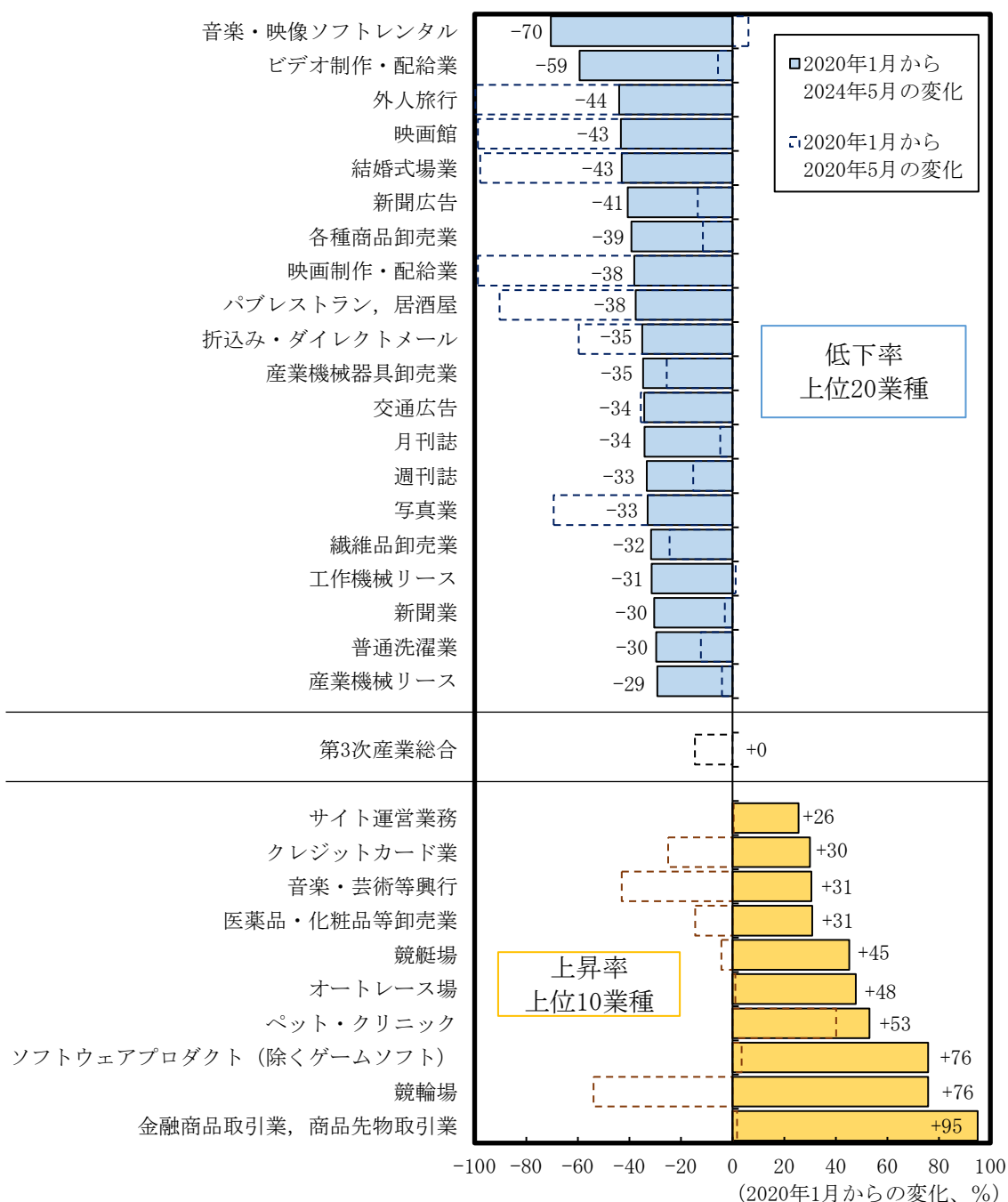


（注）大和総研による季節調整値。24年7月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

（出所）観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

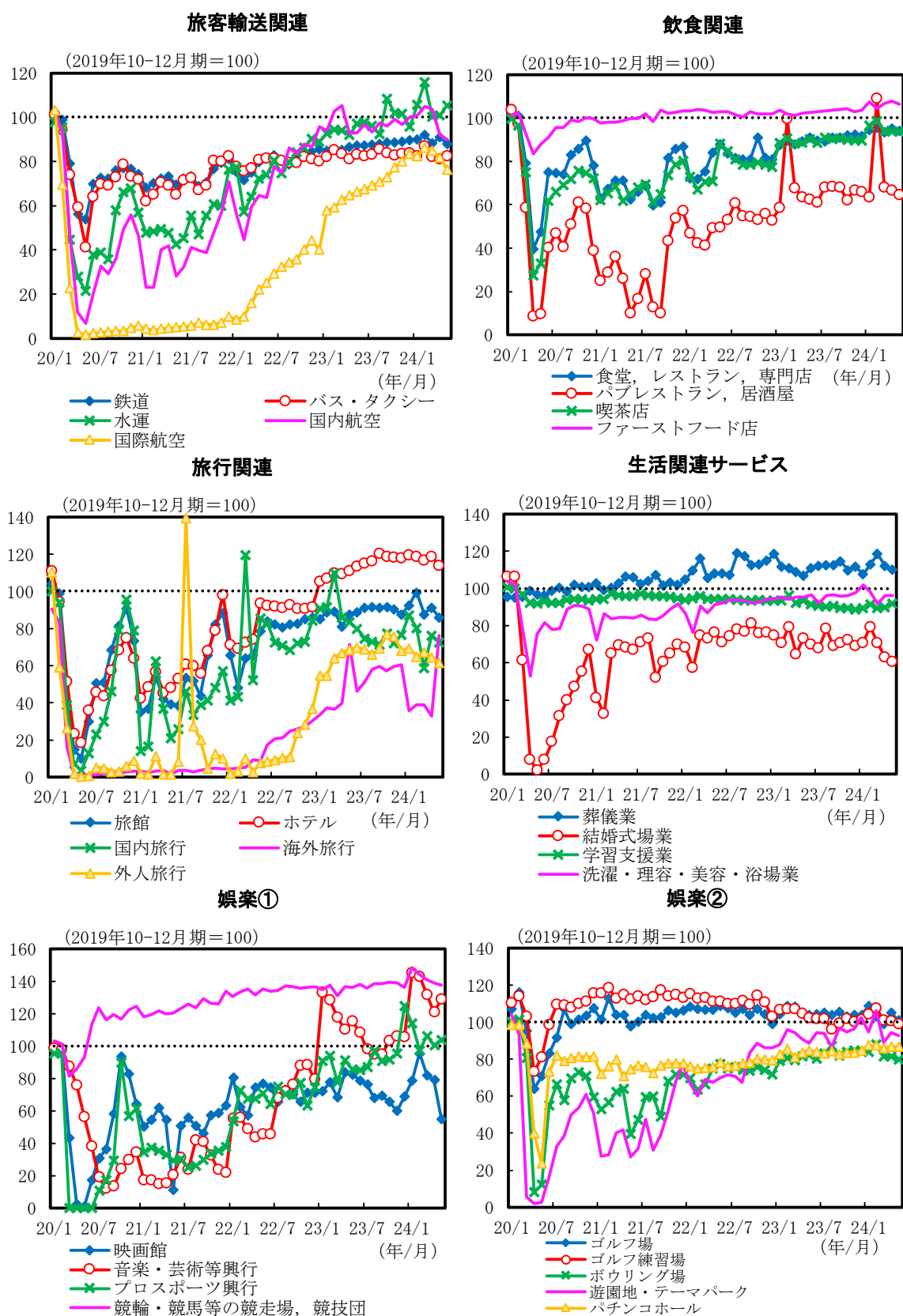
図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年5月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2024年5月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 8-2：運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成